

開館20周年記念特別展



# 井上ひさしの 劇列車

I期／2019年4月27日(土)～6月30日(日)

II期／2019年12月14日(土)～2020年4月5日(日)

会場／仙台文学館 企画展示室

休館日／月曜日(祝・休日は開館)、祝・休日の翌日(土・祝・休日は開館)、第4木曜日(12月26日は開館)、12月28日(土)～1月4日(土)

開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)

観覧料／一般800円、高校生460円、小・中学生230円(各種割引あり)

主催：仙台文学館

協力：井上事務所、こまつ座、遼筆堂文庫

後援：朝日新聞仙台総局、河北新報社、産経新聞社東北総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局

共同通信社仙台支社、時事通信社仙台支社、MNH 仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送

三洋電機、K-B東北放送、エフエム仙台



(公財)仙台市市民文化事業団

仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1  
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044

<http://www.sendai-lit.jp>

仙台文学館は、  
今年で開館20周年を迎えます。  
それを記念し、当館の初代館長をつとめた  
井上ひさしの展示を、春と冬の  
二期にわけて開催します。

劇作家・小説家の井上ひさしは、作家や文人たちの生涯を一本の戯曲に仕立てる「評伝劇」を、数多く書き残しました。とことん調べ抜いた史実に、大胆な趣向を加えて再構成した作家の人生。そこに、ことば遊び・パロディ・歌・踊り・どんでん返しなど、さまざまな仕掛けをほどこし、ユーモアをまじえて書いた評伝劇は、多くの観客を楽しませています。

井上ひさしの評伝劇をテーマに開催する本展では、展示室を「劇列車」に見立てます。戯曲をイメージした空間で、評伝劇の直筆原稿やプロット、創作メモ、執筆にあたって読み込んだ書籍など、多くの資料を紹介します。井上評伝劇に登場する人びとの生涯と、彼らに対する井上ひさしの深い敬愛を、展示室で感じてください。

空間デザイン：大沢佐智子（舞台美術家）



こまつ座第84回公演「人間合格」  
(こまつ座提供、撮影：谷古宇正彦)



こまつ座第32回公演  
「頭痛肩こり樋口一葉」  
(こまつ座提供、撮影：谷古宇正彦)



「イーハトーボの劇列車」



井上ひさし旧蔵書  
「校本 宮澤賢治全集」(運筆堂文庫蔵)  
「イーハトーボの劇列車」執筆にあたって  
読み込んだ全集の一部。  
ふせんが多数貼られている。

展示で取りあげる作品の主人公 (かっこ内は戯曲のタイトル)

- |    |     |       |                 |
|----|-----|-------|-----------------|
| I期 | II期 | 宮澤賢治  | (「イーハトーボの劇列車」)  |
| I期 | II期 | 樋口一葉  | (「頭痛肩こり樋口一葉」)   |
| I期 | II期 | 太宰治   | (「人間合格」)        |
| I期 | II期 | 林芙美子  | (「太鼓たたいて笛ふいて」)  |
| I期 | II期 | 小林多喜二 | (「組曲虐殺」)        |
| I期 |     | 平賀源内  | (「表裏源内蛙合戦」)     |
| I期 |     | 小林一茶  | (「小林一茶」)        |
| I期 |     | 夏目漱石  | (「吾輩は漱石である」)    |
| I期 |     | 松尾芭蕉  | (「芭蕉通夜舟」)       |
| I期 |     | 石川啄木  | (「泣き虫なまいき石川啄木」) |
|    | II期 | 魯迅    | (「シャンハイムーン」)    |
|    | II期 | 河竹黙阿彌 | (「黙阿彌オペラ」)      |
|    | II期 | 吉野作造  | (「兄おとうと」)       |
|    | II期 | チャーホフ | (「ロマンス」)        |

※内容は一部変更になる場合があります。

展示関連イベント (I期)

①井筒和幸トークイベント「映画にしてみたい井上作品」

井上ひさしの大ファンである映画監督・井筒和幸さんをお迎えして、「下駄の上の卵」など、自身が映画にしてみたい井上作品についてお話しいただきます。

- 出演：井筒和幸(映画監督)
  - 日時：5月26日(日) 13:30~15:00
  - 定員：100名(先着) ●申込受付：4月9日(火) 10:00~
- ※会期中の特別展覧券の半券が必要です。



②展示室リーディング「賢治と啄木に聞く」

ある日、こまつ座に、突然ざしき童子が現れた！その正体は宮澤賢治。さらに、同じ岩手出身の石川啄木まで出現し、座付き作者・井上ひさしによる珍妙なインタビューが始まった…… 井上ひさしのエッセイ「賢治と啄木に聞く」を、リーディングでお届けします。

- 出演：芝原弘(黒色綺譚カナリア派/コマイぬ)、本田棕(劇団 短距離男道ミサイル)、原西忠佑
  - 演出：大河原準介(LondonPANDA)
  - 日時：6月16日(日) 1回目11:00~12:00、2回目14:00~15:00
  - 定員：各回30名(先着) ●申込受付：5月9日(木) 10:00~
- ※当日の特別展覧券が必要です。

イベントの  
申込方法

電話・ファクスで受付(ファクスの場合はイベント名・氏名・電話番号、②は希望時間も明記)。定員になり次第受付終了します。  
申込先：TEL 022-271-3020 FAX 022-271-3044  
※いただいた個人情報は上記イベントのご連絡以外に使用しません。

◆このほかのイベントについては、仙台文学館の公式ホームページ、ツイッター、フェイスブック等でお知らせします。

学芸員による展示解説

- 日時：4月29日(月・祝)、5月18日(土)、6月15日(土) 各日11:00~12:00
- 申し込み不要、直接会場へ ※当日の特別展覧券が必要です。



井上ひさしが仙台文学館の講座で使用したレジュメ 宮澤賢治のプロフィールや岩手県の地図が、井上の直筆で書かれている。賢治に対する、井上の博識ぶりがうかがえる資料。

交通のご案内

- バス利用の場合**  
《いずれも「北根二丁目・文学館前」下車》  
○宮城交通バス  
仙台駅西口バスプール2~4、6番乗り場 仙台-北根地区方面行(急行・北山トンネル経由を除く)  
○市営バス  
仙台駅西口バスプール6番乗り場 ハ乙女駅行
- 地下鉄利用の場合**  
南北線「台原駅」下車、徒歩約25分  
(台原森林公園内あかまつの道経由)
- 駐車場40台(無料)**  
台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



(公財)仙台市民文化事業団  
仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1  
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044  
http://www.sendai-lit.jp

仙台文学館 ~今後の展覧会~

こども文学館えほんのひろば  
開館20周年企画「スズキコージ展(仮)」  
2019年 7月13日(土)~8月25日(日)

※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます。